

辺土名小学校校内研 5年経年研修授業研究会

(1) 単元名： 漢字の広場2 組み合わせることができる言葉

(2) 本時の目標： 組み合わせることができる言葉の でき方や読み方を考えよう。

26年度、名護市内の大規模校からの赴任である。

本務の教員として5年目、大規模校で初任研を無事終え、田舎の1クラス20数名の学級の担任に着く。教室の児童の数が少ないのはそれだけ教師の数が少ないということである。大規模校で経験することのなかった校務に日々追われながらの5年研修である。

初任研を終え、私なりの教育の哲学や理念、学習指導理論も多くの先輩方や、研究会で学んできたことは思うが・・・

「ここ、国頭村に赴任した期間だけは『学びの共同体』の理念でお願いします。」は、国頭村教育長のお言葉である。

新任教師の挑戦、『いろんな人が、いろんなところで、いろんな思いで頑張っている。』未来へ向かう子ども達と一緒に果てしない挑戦の始まりである。



【学習環境の整備・学習規律の徹底】 辺土名小学校7月の授業づくりの目標である。



教室の環境、教室の状況にもいろいろある。辺土名小学校の校内研修において7月の授業づくりの目標を、学習環境の整備と学習規律の徹底に切り替えた。まずは環境とルールの徹底である。一言で教室と言っても学年の違いや学級員（子ども達）によって様々である。「やっても…やっても…言っても…言っても」なかなか言葉が子ども達の心に届かない状況もあったりする。教師もあらゆる手段を講じながら、日々苦悩するが、上の3枚の写真どうですか。かなりクラスの成長がうかがえるのではないのでしょうか。佐藤先生の言葉をお借りして「10回言ってもダメなら11回言う。」「100回言ってもダメなら101回言うつもりで向かうこと。」

9:35 授業開始… 今日の漢字「耕」の確認をする。(音読み、訓読み、部首)



ワークシートを配布し、本時の学習の確認をする。授業者は、休み時間で板書を済ませている予定であったが、前の授業が長引いてしまって、板書が間に合わなかった。…よくある、これも日常である。大切なことは、予定やプランが滞ったり躓いたりしたときに、それを教師も子ども達も受け入れて新たな授業デザインを心がけることである。

本時は、授業者が書きながら進行していったが子ども達も状況は理解されていたと考える。途中、書きながら子ども達に話しかける状況が出てしまったが、今日はそれで進めるしかない状況であった。

9:47 (1) 課題をやる → 基本問題

組み合わせることができる漢字の基本的なでき方や読み方を確認した。

教師の説明を聞いた後、それぞれがワークシートに向かってやる。

授業者から一言ほしい場面である。

「分からなかったら隣に訊いてね。」

「友達同士で確かめてね。」





9:54 ①～⑥までの漢字を使って短文をつくる。(写真①)

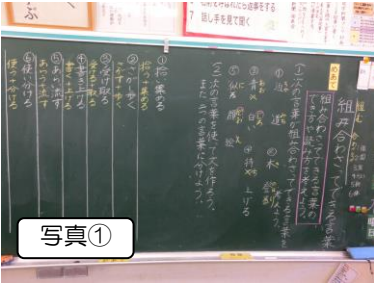
ホワイトボードと短冊をグループに配布しグループによる協同学習を設定した。子ども達は、それぞれのアイデアを出し合って1文を仕上げる。(写真②③)

写真④、各グループから出された短文である。グループで1例を作成させるということは、一人ひとりの考えや思いが排除されることになりかねない。また、意見の強い子どもの考えに傾斜したり全く参加しなかったりする控えめな子どもが懸念される。そこで…

まず、子ども達各々に短文をつくらせて、グループで共有させてから、グループから1例を子ども達に選択させるとよかったですのではないだろうか。

「仲間と吟味する。」この行為だけでも、仲間のいろいろな考えや思いにふれることになる。

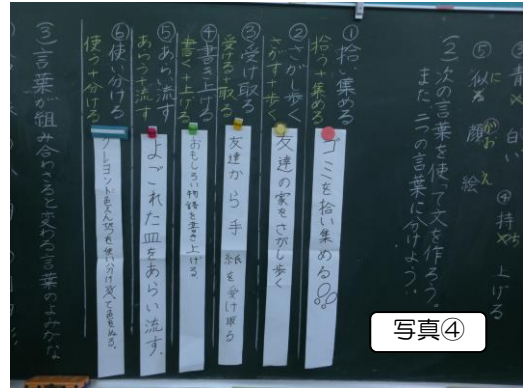
写真①



写真②



写真③



写真④

つまり、自分との違いを学ぶ価値ある機会となるのである。

10:06 (教科書問題を抜粋)

(3) どこの読み方が変わるでしょうか。



【聴き合う眼差し】写真⑤、今日の学習の内容を「聴く」子ども達です。写真⑥、各グループの作品の解説を「聴く」子ども達です。授業の中で子ども達のこの目が向けられる瞬間を見逃さないでほしい。



写真⑤



写真⑥

10:14 最終課題である。：組み合わせさせた漢字を3つ使って短文をつくりましょう。教科書のレベルを超えた課題である。簡単でないからやりがい生まれる。子ども達は、一文にするためにふさわしい「組み合わせさせてきた漢字」考える。さらに漢字をつなぐ言葉が考えられる。

「春風のふく中、  
ぼくは青白い消しゴムをもって登校する。」  
青白い消しゴムとは…?であるが。  
ゆっくり教えていってください。子どもたちなりに、  
しっかり完成させたい姿勢が見えました。



写真⑦

T・Y先生…ほんとお疲れさんでした。久しぶりに他者に参観してもらった授業でしたか…超緊張？上の写真⑦、授業の最終でやっと先生の笑顔が確認できました。私が一番安心しました。

教師たちのつらい研究にだけは決してしたくない。国頭学びの会ゆいには難しい方針やルールはありません。ただ3つのモットーだけは言い続けていることがあります『静かに 淡々と 楽しく。』『焦らず 無理せず ゆっくりと。』『笑顔で挑戦しよう。』です。

赴任されて4ヶ月、教師の言葉が確実に少しずつ子ども達の心に届いていることを感じます。

焦らないでほしい…子ども達のためにも、教師自身のためにも「私なりに前向きに進みゆく」ことを切に願います。